旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年１２月１３日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌95「わがこころは」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌130「よろこべや」	一　同
教会学校	絵本「靴屋のマルチン」	牧　師
讃　　美	讃美歌239「さまよう人々」	一　同
聖書朗読	ダニエル7:1-7	
奨　　励	ダニエル書の福音(第７回)	牧　師
主　　題	**「救い主の到来」**	
讃　　美	Ⅱ讃美歌136「われ聞けり彼方には」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**クリスマス・メッセージ**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
12/13(日)聖日礼拝
/14(月)
/15(火)
/16(水)
/17(木)10:00聖研
/18(金)
/19(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ
/20(日)**9:30クリスマス礼拝**

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「サンタクロースはどんな人？」

聖ニコラウスは、サンタクロースのモデルとして有名ですが、実は、謎に満ちた人なのです。これほど有名でありながら、知られていることは本当に少なく、またその生涯も謎に満ちあふれ、伝説だけが有名となっています。

聖ニコラウスは、紀元271年（280年説もあります）から、342年か343年の12月６日まで生きていたとされ、現在のトルコのデムレ、かつてのギリシャ人の街ミュラの司教であり、東方教会では有名な聖者でした。ニコラウス（**Nicolaus**）は勝利を意味する「**Nicos**」と民衆を意味する「**laos**」に由来、また、光輝を意味する「**Nitor**」と「**laos**」の民衆とも関係しているとも言われ、民衆の勝利、または光輝を意味しています。

人々を輝く光で浄化し、民衆に降りかかるあらゆる悪を取り除く力を持つ、もっとも大衆的な聖人でした。そして、様々な奇跡を起こし、不幸な人々を救ったことから、子供、乙女、船乗り、学生、パン職人、肉屋の守護聖人として人気があります。

死後、遺体は、ミュラの街に埋葬されましたが、後にトルコ人達によって墓は破壊されました。しかし、イタリアのバーリーから熱心な信者の騎士が訪れ、聖骨をバーリーに持ち帰ったのです。そのバーリーから分骨されて、フランスのサン・ニコラ・ポール教会が出来ました。

さて、その聖ニコラウスは、生まれながらに裕福な家に生まれ、幼い頃から、教会、宗教者にあこがれ、大きくなったら、必ず、自分の受け継いだ遺産で、不幸な人々を救おうと決心していました。その幼い決心を大きくなっても変えることなく、ニコラウスは、やがて聖人として認められ、彼が不幸な人々を救うために行った行為が、伝説となり、それら、聖ニコラウスが貧しい人々にもたらした数々の奇跡、贈り物が、今のサンタクロースの元となっているのです。